

平成24年度

同好会事業報告

文学同好会

世話係 酒井謙一

会長 清水幸子

月日	実施した事業内容	参加人員
5月1日	第1回 同好会 役員決定・年間計画立案	7人
7月9日	信州大学教授 藤森裕治先生による講演会 (ワークショップを含む) 「バタフライマップ指導法～美しい論理力を育てる～」	14人
8月2日	文学散歩 「臥竜山の文学碑めぐり」 講師 和田邑吉先生	5人

文学同好会では、今年度も、郡の国語の研究委員会と上高井国語学会の会員の方々にも、活動等のお知らせをして参加していただきました。来年度も同様に協力していければと思います。今年も、例年のように「講演会」と、「夏の文学散歩」を行いました。

「講演会」は七月九日（月）に「バタフライマップ～美しい論理力をきたえる～」と題し、信州大学教育学部教授である藤森裕治先生にお話していただきました。

始めに、アニメの「楽しいムーミン一家」のビデオを見て「赤い色」が何を意味しているのか、をバタフライマップを使いながら考えました。それぞれが考えたことを、今度は小グループになって赤い物が何の意味を表しているのかを考えました。そして、最後に意見を出し合いました。

何気なく見ていたときにはわからなかったムーミンの心の成長や、自然の営み、厳しさなどに気づくことができたり、新しい教材の可能性を知ったりすることができました。

夏の文学散歩は、八月二日（木）に、元須坂市町並みの会の講師であった和田邑吉先生に「臥竜公園の文学碑めぐり」をしていただきました。昨年、俳人栗生純夫について学びましたが、その栗生氏の句碑が臥竜山の入り口にありました。そのほかに満州開拓の慰霊碑、管鮑の歌碑、越寿三郎の碑、そして、山頂では俳人芳谷の歌碑、芭蕉碑、そして、百番観音とたくさんの碑について、臥竜山と公園の歴史にもふれながら解説していただきました。暑い日ではありましたが、今年も先人の思いに触れ充実した時間を過ごすことができました。

どちらの会も一般会員の方にも参加していただけてありがたかったです。

（会長 清水 幸子）